

(お知らせ)

平成31年2月22日
防 衛 省

北海道胆振地方中東部を震源とする地震に係る防衛省・自衛隊の対応について (最終報)

※数値等は速報値であり、今後変わることがある。

※下線部は、前回報告からの変更箇所

1. 地震の概要

平成31年2月21日(木) 21時22分頃、北海道胆振地方中東部を震源とする地震(マグニチュード5.8:暫定値)が発生し、北海道胆振中東部で最大震度6弱を観測した。

2. 防衛省・自衛隊の対応

(1) 活動の概要

- 地震発生後、陸海空各自衛隊の航空機により、上空から情報収集を行ったほか、北海道庁、厚真町などの自治体に連絡員(LO)や初動対処部隊(ファストフォース)を派遣して現地で情報収集を行った。
- 特段大きな被害は確認されておらず、北海道からの災害派遣要請はなかった。

(2) 活動部隊 陸 自 北部方面総監部(札幌)、第7師団司令部(東千歳)、第11旅団司令部(真駒内)、北部方面航空隊(丘珠)、第7飛行隊(丘珠)、第11飛行隊(丘珠)、第11普通科連隊(東千歳)、第18普通科連隊(真駒内)、第72戦車連隊(北恵庭)、第73戦車連隊(南恵庭)、第7特科連隊(東千歳)、第7偵察隊(東千歳)、第7通信大隊(東千歳)、第7施設大隊(東千歳)、第11特科隊(真駒内)、第12施設群(岩見沢)

海 自 第2航空群(八戸)、第25航空隊(むつ)

空 自 第3航空団(三沢)、千歳救難隊(千歳)

(3) 活動規模 人 員 約75名(延べ約195名)

車 両 約30両(延べ約50両)

航空機 2機(延べ11機)

(4) 主な対応状況

【21日(木)】

21時24分 防衛省災害対策室設置

21時25分 防衛大臣の指示

- 1 早急に被害状況を把握できるよう、関係府省庁及び自治体と緊密に連携し、情報収集に努めること。
- 2 被害が発生した場合に備え、万全な準備態勢を確立すること。
- 3 今後の状況の推移に的確に対応し、災害対応に万全を期すこと。

21時47分 第3航空団のF-2×2機が情報収集のため基地を離陸。

21時48分 北部方面航空隊のUH-1×1機(映像伝送機)が情報収集のため駐屯地を離陸。

21時49分 第7飛行隊のUH-1×1機が情報収集のため、駐屯地を離陸。

- 21時54分 北部方面航空隊のUH-1×1機（中継機）が駐屯地を離陸。
- 21時57分 第7偵察隊の部隊（人員約15名、車両4両）が厚真町に向け駐屯地を出発。
- 22時00分 第11飛行隊のUH-1×1機が情報収集のため駐屯地を離陸。
第25航空隊のSH-60×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 22時10分 第2航空群のP-3C×1機が情報収集のため基地を離陸。
- 22時15分 千歳救難隊のUH-60×1機が情報収集のため駐屯地を離陸。
第7特科連隊の初動対処部隊：ファストフォース（人員約25名、車両4両）が厚真町に向け駐屯地を出発。（23時19分到着）
- 23時15分 第7特科連隊の部隊（人員約20名、車両4両）がむかわ町に向け駐屯地を出発。
- 23時30分 第7特科連隊等の部隊（人員約60名、車両約10両）が厚真町等に向け駐屯地を出発。

【22日（金）】

引き続き、北部方面総監部等のLOが北海道庁等で情報収集を実施。

- 04時26分以降 第7特科連隊の部隊（人員約20名、車両約10両）が平取町、厚真町、むかわ町、安平町に向け駐屯地を順次出発。
- 04時40分以降 第7偵察隊の部隊（人員約30名、車両約10両）が安平町、厚真町に向け駐屯地を順次出発。
- 04時53分以降 北部方面航空隊のUH-1×2機（映像伝送機等）が情報収集のため駐屯地を離陸。
- 06時10分 第72戦車連隊の部隊（人員3名、車両1両）が長沼町に向け駐屯地を出発。
- 06時14分 第11普通科連隊の部隊（人員約20名、車両約10両）が千歳市に向け駐屯地を出発。
- 10時18分 部隊及び航空機による情報収集活動を終了。異状は確認されなかった。

○ LO派遣実績（15カ所）

北海道庁、石狩振興局、空知振興局、札幌市、厚真町、安平町、むかわ町、千歳市、白老町、苫小牧市、平取町、日高町、小樽市、三笠市、岩見沢市、